

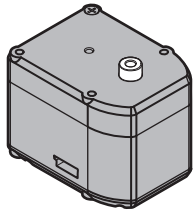
# ⚠️ ご注意

この改造は、KHR-1のショルダー部分へ、KRS-4024HVを取り付けることにより、可動範囲の増加を目的とするものです。改造という性格上、作業はお客様の責任でおこなっていただきますようお願いいたします。近藤科学(株)は、改造の結果につきましては責を負いません。

- この改造の対象は、HV コンバージョンを適用したKHR-1に限定されます。HV シリーズのサーボと、6V 対応のサーボを混在して使用することは出来ません。
- オプションパーツの「ショルダーサポーター」はご使用になれません。
- HeartToHeart でのポーズ編集時、換装した KRS-4024HV は、従来のサーボに比べて動作角が大きいため

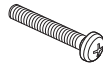
- に、1ステップのサーボの動作量は約 1.45 倍となります。
- KRS-4024HV は動作角が大きいため、ストッパーが無い状態では 360 度回転します。電源投入時やフリーから復帰した際のサーボの位置によっては、回転方向により、配線の可動範囲を超えて動作する場合がありますので、注意が必要です。

## 用意するもの



× 2

KRS-4024HV  
RED VERSION

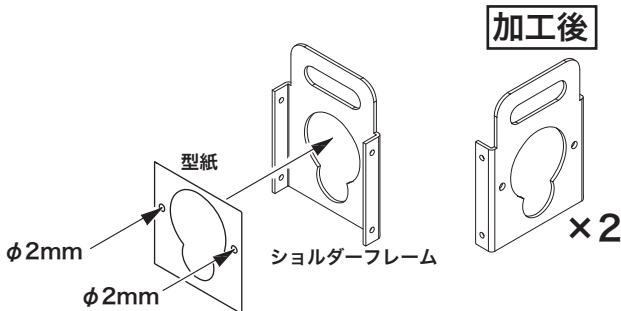


× 4

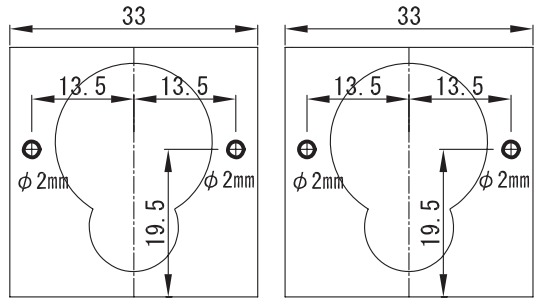
M2×15ビス (ナベ)  
(No.01127 M2ビスセット B)

※φ2mmのドリルと穴あけ加工が出来る工具・機械が別途必要です。

## 手順1: 「HR-005 ショルダーフレーム」への穴あけ加工

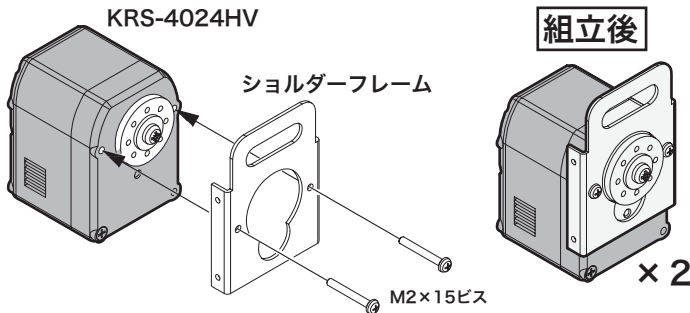


●型紙をフレームの裏側に貼り付け、ドリルで穴を二ヶ所あけます。ドリルを使う前に、ポンチなどで目印を打っておくと精度良く加工できます。



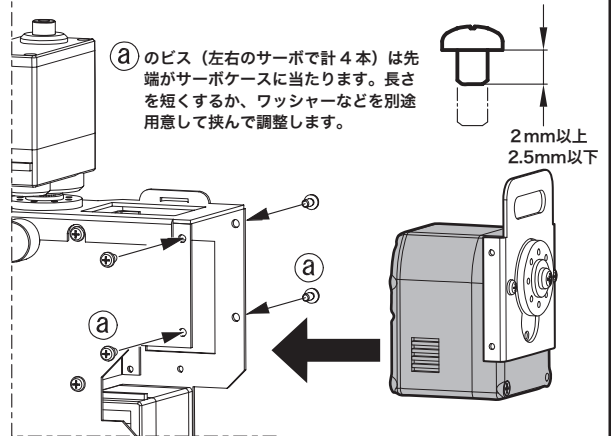
穴あけ用型紙 (等倍で印刷してください。)

## 手順2: ショルダーユニットの組立



## 手順3: ユニットの取り付け

※取り外したサーボの「サーボブラケット A」は、サーボを取り外して再度ポディーに組み込んでおきます。



名称			図面用途		* 禁転載・再配布 *
KRS4024HV KHR-1搭載手順			参考図		
尺度	単位	日付	近藤科学株式会社		
1 / 1	mm	05, 12, 07			